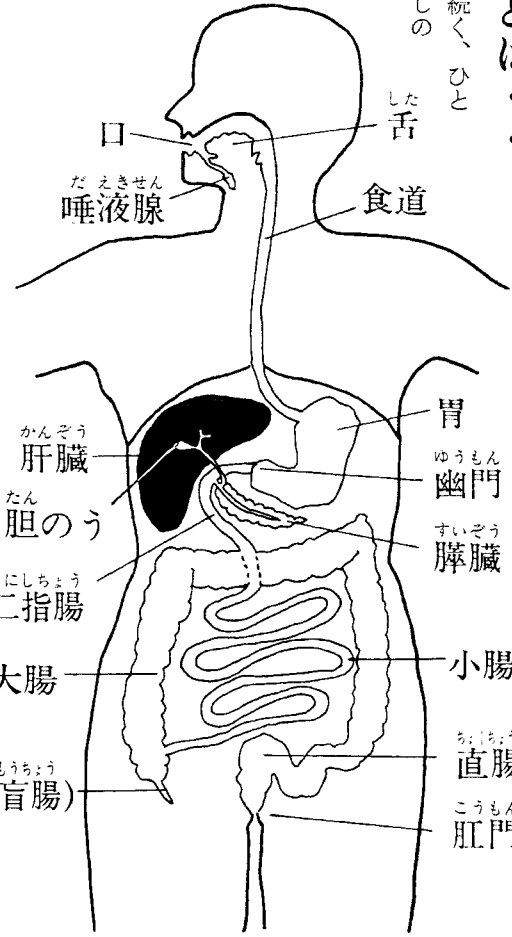


からだの科学

仕組とはたらきを字ぼつⅢ

1 消化器とは

口から肛門まで続く、ひとつづきの長い道すじのことです。



2 胃

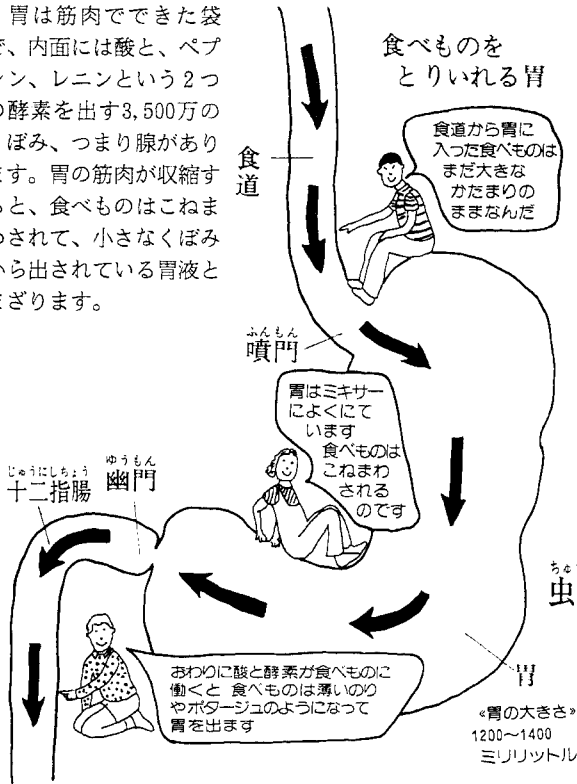
胃とは、食道と小腸（十二指腸）との間で、ふくらむ状にふくらんだところをいいます。

胃は食べものの貯蔵タンクの役目をしていいます。食道から送りこまれた食べものを胃液とともにかきまわしたり、こねたりして、栄養が体の中に取り入れやすいようにしています。

消化の時間

食べたものが、胃の中にある時間は、パンやごはんが短く、つぎが肉です。油類は、あとまで残ります。脂肪の多いものを食べる、となかなかおなかがかすかないといわれるのは、このためです。なお、食べたものが胃を通過するには、二時間から六時間かかります。

胃は筋肉でできた袋で、内面には酸と、ペプシン、レニンという2つの酵素を出す3,500万のくぼみ、つまり腺があります。胃の筋肉が収縮すると、食べものはこねまわされて、小さなくぼみから出されている胃液とまざります。



胃・十二指腸潰瘍

最大の敵はストレス

胃・十二指腸潰瘍は強力な消化液である胃液によって、胃壁や十二指腸壁が自己消化を起こしてしまいう病気で、このため消化性潰瘍ともいわれます。



この主な原因はストレスです。精神的なストレスが脳の自律神経などに作用して、粘膜への血流を阻害し、胃液の分泌を促します。胃壁を守る粘液の分泌が減り、攻める胃液は大量に分泌するので胃の粘膜に穴があくものしかたがないのです。とくに、きまじめで張り切り屋、責任感の強い人、気が弱くて、すぐ反省するようなタイプがかかりやすいようです。

胃がグーグー鳴るのは……



胃の中には、なにも食べていなくても空気と胃液があります。また、胃はつねにある程度の運動をしています。

この時に出る音が、グーグーという音です。

とくにおなかがかすくと、胃の動きが多くなるので、それだけ音も大きくなります。



げっぷが出るのは……



食べたものは、ふつうは口から食道を通して、胃の中へ運ばれていきます。

ところが、げっぷはそのぎゃくで、胃の中のガスや、飲みこんだ空気などが食道を通して、口へもどって出るために起こります。

このほか、サイダーやコーラなどのように、炭酸の多いものを飲むと、胃の中に二酸化炭素がたくさんたまるために、げっぷがよく出ます。